

金城大学・金城大学短期大学部

『SDGs宣言』

SDGsとは、2015年の国連サミットにおいて採択された「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ」のなかで掲げられた「持続可能な開発のための目標（Sustainable Development Goals）」の略称です。2030年を期限とする17の目標と169のターゲットから構成されており、誰一人取り残さない社会の実現を誓って定められたものです。

金城大学および金城大学短期大学部（以下「本学」という。）は、建学の精神として、「遊学の精神の涵養」および「良妻賢母の育成」を掲げています。「遊学の精神の涵養」においては、一人ひとりの人格向上を支援して個人のウェルビーイングの実現を目指し、また「良妻賢母の育成」においては、周りの人々を支える利他意識の向上を支援して社会のウェルビーイングの実現を目指す教育を視野に入れています。こうした個人と社会のウェルビーイングの促進を旨とする本学の建学の精神は、すべての人の可能性を引き出す教育を基本的な理念としており、SDGsが目指す「誰一人取り残さない」社会の実現と相通じる考え方といえます。

また、本学が位置する白山市は、2018年に「SDGs未来都市」に選定され、「白山市SDGs未来都市計画」を定めました。本学は、地域密着型の大学としての社会的責任を認識し、ここに、白山市との連携を密にしつつSDGsの達成に向けて以下に掲げる取組を行うことを宣言します。

1. 教育研究

学生一人ひとりがSDGsを理解し課題に対処するための知識や技術を身につけ、その解決に向けて自主的に取り組んでいけるよう教育・啓発活動を行うとともに、教員に対してはSDGsの達成を推進する研究活動を支援します。

2. 地域連携

白山市をはじめ地元地域の企業・団体・学校・行政機関等との連携をすすめ、人と人とを結び、SDGsの達成に向けて地域が一体となった取組を支援できる知的ハブとなるよう努めます。

3. 大学運営

本学における教育研究や管理運営をすすめるにあたり、教職員がSDGsの達成を意識した活動を行うことができるよう推進体制を整備し、研修等を行います。

2023年7月1日

金城大学 学長
金城大学短期大学部 学長

米島 學
加藤 博